

U19世界選手権



左上 バス待ち：バスを待つ日本選手、ドイツ選手（奥）。この後、バスがやって来ると、「整然と並んで」日本人が乗ろうとすると、「整然と」という概念など全くなく、他国選手が入口に群がって乗り込みます。その内に日本人も同じスタイルになって行かざるを得ません。毎度おなじみの光景です。

右上 オールチェック：オールを調整するコーチ・選手

左下 艇計量：艇置き場横のテント内で行われた艇計量

右下 JM2xとJM4xの蹴り出し：JM2x S野村（潮来）、大久保（明治大）、JM4x S古田（米子工業）、3武田（美方）、2高田（敦賀工業）、B中原（日田）

8/4 (月)

朝食を07:00にとり、09:05発のシャトルバスで移動。いつもより余裕のあるスケジュールです。とはいえ、バスが時間通りに到着せず、30分以上遅れての出発となりました。

レース会場では一段と準備が整い、昨日より多くの選手が準備をしています。ブレードの日の丸の剥がれや、オール的全長・インボードなどを再度確認しました。また、艇の予備計量もこの日から行うことができました。ほとんどの艇がクリアされていましたが、JM4x艇だけが約2kg以上オーバーしていたため調整を行いました。

今日の午前のメニューは「UT2000m、250m on/250m off を4セット、UT2000m」という内容。

午後もしピードの確認や各クルーのテクニク修正を中心とした8km。オールの確認など大切なチェックを行いつつ予選に向けて準備をしています。いよいよ明日は開会式、組み合わせの発表となります。緊張感・集中力がどんどん増してきます。



左上 JW2x：S成瀬（恵那）、B常盤（小浜水産）

右上 JW4x：S小原（筑波大）、3棚橋（加茂）、2高島（米子東）、B瀧本（館林女子）

左下 ランチのテント内：間もなくオープンのランチのテント内。ケータリングのテント内だけでなく、多くの場所で多くのヴォランティアの方々が大会を支えています。嫌な顔一つせず、自然な明るさで接してくれて、ほのぼのとした何とも言えない雰囲気を出してくれています。

右下 ランチメニュー：grilled minced meat with butter rice & red pepper sauce,served with cabbage salad です。